○クルマの日常点検ハンドブック○

最後に点検した日、覚えてる？

～後悔しないための点検・整備～

安全と環境保全には、点検整備が必要です

クルマの点検は、日々劣化するクルマを維持していくのに必要な措置です！

日常点検　日頃、自動車を使用している中で、走行距離や運行状態などから判断し、適切な時期に点検を行うことが必要です。チェックしてみましょう。

定期点検　定期点検は、安全確保・環境保護の観点から、自家用乗用車については、1年ごとに実施しなければなりません。

車検（自動車の検査）は、安全・環境面で国が定める基準に適合しているかどうかを一定の期間ごとに確認するものであり、次の検査までの安全性等を保証するものではありません。したがって、使用者は、日常点検整備や定期点検整備を確実に実施するとともに、使用に応じた適切な保守管理を行う必要があります。

マイカーを点検しよう！日常点検 15 項目チェック！

ボンネットを開けて

- ブレーキ液の量 P04
- 冷却水の量 P05
- エンジン・オイルの量 P06
- バッテリ液の量 P07
- ウインド・ウォッシャ液の量 P08

クルマの周りを回って

- ランプ類の点灯・点滅 P10
- タイヤの亀裂・損傷の有無 P11
- タイヤの空気圧 P12
- タイヤの溝の深さ P13

運転席に座って

- エンジンのかかり具合・異音 P16
- ウインド・ウォッシャ液の噴射状態 P17
- ワイパーの拭き取り能力 P18
- ブレーキの踏み残りしろと効き具合 P19
- 駐車ブレーキの引きしろ（踏みしろ） P20
- エンジンの低速・加速状態 P21

日常点検 #01

ボンネットを開けて

[エンジンルームチェックシート]

	判定 ○	or ×
ブレーキ液の量		
冷却水の量		
エンジン・オイルの量		
バッテリ液の量		
ウインド・ウォッシャ液の量		

ブレーキ液のリザーバ・タンクをチェック!

ブレーキ液の量

点検しないとどうなるの?

ブレーキ液の液面が下限ラインを下回ると、ブレーキの効きが甘くなり、危険を回避することができず事故につながる恐れがあります。

【チェック内容】

ブレーキ液のリザーバ・タンクを見て、液量が上限ラインと下限ラインとの間にあるかどうかを点検します。

冷却水のリザーバ・タンクをチェック!

冷却水の量

点検しないとどうなるの?

冷却水はエンジンの熱を冷ます働きをしています。
冷却水が不足すると、オーバーヒートを起こし、走れなくなります。

【チェック内容】

冷却水のリザーバ・タンクを見て、液量が上限ラインと下限ラインとの間にあるかどうかを点検します。この冷却水が下限ラインに近いか、それより少ない場合は、上限ラインまで冷却水を補充しましょう。

エンジンに付いているオイル・レベルゲージを使って、量と汚れをチェック!

エンジン・オイルの量

点検しないとどうなるの?

エンジンオイルはエンジンをスムーズに回転させるための潤滑油です。
エンジンオイルの量が不足したり、汚れがあるとエンジンの負担が高まり、
エンジンを傷つけてしまい走ることができなくなります。

【チェック内容】

エンジンに付いているオイル・レベルゲージを抜きとり、付着しているオイルを拭きとってから、ゲージをいっぱいに差し込み、再度抜きとってオイルの量を見ます。ゲージの先端についている規定の範囲(上限と下限の間)であるか点検します。

バッテリ液の量をチェック!

バッテリ液の量

点検しないとどうなるの?

バッテリはエンジンをかけたり、電装品を動かす重要な役割を担ってます。バッテリ液が不足するとエンジンがかかりづらくなったり、最悪バッテリが破裂することがあります。

【チェック内容】

車両を揺らすなどしてバッテリ液の量が規定の範囲(上限と下限の間)にあるかを点検します。

ウインド・ウォッシャ液の量をチェック！

ウインド・ウォッシャ液の量

点検しないとどうなるの？

ウインドウォッシャ液が不足すると、フロントガラスの汚れを落とせず視界が悪いまま走ることになり、危険です。

【チェック内容】

ウインド・ウォッシャ液の量が適当かを点検します。

日常点検 #02

クルマの周りを回って

[クルマの周りチェックシート]

	判定 ○ or ×
ランプ類の点灯・点滅	
タイヤの亀裂・損傷の有無	
タイヤの空気圧	
タイヤの溝の深さ	

ヘッドライト、スモールランプ、ブレーキランプ、テールランプ、ウインカーなどが正常に点灯・点滅しているかチェック!

ランプ類の点灯・点滅

点検しないとどうなるの?

ランプ類は他車や歩行者に自車の動きを伝えたり、夜間走行時に使用します。ランプが正常に機能しないと、他車に対する意思表示ができずにトラブルに巻き込まれたり、夜間も走行できないなど危険です。

【チェック内容】

ランプ類の点滅・点灯をそれぞれ確認するとともに、レンズに汚れや損傷がないかを点検します。

タイヤの亀裂や損傷の有無をチェック!

タイヤの亀裂・損傷の有無

点検しないとどうなるの?

タイヤの亀裂や損傷に気付かず走行すると、パンクや破裂の危険があります。
特に高速走行時のパンクや破裂は事故につながります。

【チェック内容】

タイヤの亀裂や損傷の有無を目や手で確認するとともに、タイヤに異物が付着していないかを入念に点検します。

タイヤの指定空気圧は、運転席ドアの端やセンターピラーに貼付されているラベルに表示されています。

タイヤの空気圧をチェック!

タイヤの空気圧

点検しないとどうなるの?

タイヤの空気圧が低下すると接地面積が多くなり、走行時の安定性や燃費が悪くなります。最悪の場合、タイヤが破裂することもあります。

【チェック内容】

タイヤの接地部のたわみ具合を目で見て判断します。たわみ具合で判断できない場合は、エアーゲージを用いて、タイヤの空気圧が規定の範囲内にあるか点検します。

スリップ・サインの位置を示すマーク
スリップ・サインは、タイヤの溝の深さが1.6mm 以下になると現れます。溝が浅くなるとタイヤがスリップしやすくなり、特に雨天時には大変危険となりますので、スリップ・サインが現れそうになったら、タイヤを交換しましょう。

タイヤの溝の深さが浅くないかチェック!

タイヤの溝の深さ

点検しないとどうなるの?

タイヤの溝は、道路とタイヤ間の水を流し、ブレーキの効きを助けます。磨り減ったタイヤで走行するとブレーキが効きづらく、雨天時にはスリップするなど思わぬ事故につながります。

【チェック内容】

タイヤの溝の深さが十分あるかをスリップ・サインを目印に点検します。

もしもの時のお役立ち情報

まめ知識①

タイヤがパンクしたら

パンク時のタイヤ交換の方法を紹介します。

［1］ 交通の邪魔にならず、安全に作業できる平らな場所に移動します。

［2］ パンクしたタイヤの対角線上にあるタイヤに、輪止めなどをかけておきます。

［3］ パンクしたタイヤのホイールキャップをはずします。

［4］ ホイール・ナットを少しだけゆるめます。

［5］ ジャッキアップ・ポイントを確認します。

［6］ パンクしたタイヤの近くのジャッキアップポイントに、ジャッキをかけます。

［7］ パンクしたタイヤが地面から少しはなれるまで車体を持ち上げます。

［8］ ホイール・ナットを取りはずし、パンクしたタイヤをスペアタイヤと交換します。

仮じめの順番（4穴）

［9］ **仮じめ：**ホイール・ナットを取り付け、図に示す番号順にタイヤががたつかなくなるまで、2～3回に分けてしめつけます。

［10］ **本じめ：**車体を下げ、ジャッキをはずしてから、仮じめのときと同じように2～3回に分けて、ホイール・ナットを十分にしめつけます。

仮じめの順番（5穴）

［11］ **応急用タイヤ：**取り付けたタイヤが応急用タイヤの場合は、パンクしたタイヤを早く修理するなどして、もとの位置に取り付けます。

日常点検 #03

運転席に座って

[運転席チェックシート]

	判定○	or×
エンジンのかかり具合・異音		
ウインド・ウォッシャの噴射状態		
ワイパーの拭き取り能力		
ブレーキの踏みしろと効き具合		
駐車ブレーキの引きしろ（踏みしろ）		
エンジンの低速・加速状態		

エンジンのかかり具合・異音をチェック!

エンジンのかかり具合・異音

点検しないとどうなるの?

エンジンは車を動かす重要な装置です。走行中にエンジンがストップすると、ブレーキの効きが悪くなったり、ハンドルが重くなったり、普段どおりの操作ができなくなります。

【チェック内容】

エンジンが速やかに始動し、スムーズに回転するかを点検します。
また、エンジン始動時やアイドリング状態で、異音がないかを点検します。

ウインド・ウォッシャ液の噴射状態をチェック!

ウインド・ウォッシャ液の噴射状態

点検しないとどうなるの?

ウインドウォッシャ液を噴射できないと、フロントガラスの汚れを落とせず視界が悪いまま走ることになり、危険です。

【チェック内容】

ウインド・ウォッシャ液を噴射させて、向きや高さが適当かを点検します。

ワイパーを作動させて拭き取り能力をチェック!

ワイパーの拭き取り能力

点検しないとどうなるの?

ワイパーが動かないと、フロントガラスの汚れを落とせず視界が悪いまま走ることとなり、危険です。

【チェック内容】

ワイパーを作動させ、低速および高速の各動作が不良でないかを点検します。また、ウインド・ウォッシャ液がきれいに拭き取れるかを点検します。ワイパーのから拭きは、ガラスを傷つけますので、ウインド・ウォッシャ液を噴射してからワイパーを作動させます。

運転席に座ってブレーキ・ペダルをチェック!

ブレーキの踏み残りしろと効き具合

点検しないとどうなるの?

ブレーキの効きが悪くなると、停止距離がのびて、追突事故等の原因となります。

【チェック内容】

エンジンをかけて異音がないかどうかを確かめたうえ、ブレーキ・ペダルを強く踏み込んだとき、床板との間（踏み残りしろ）が適当かどうかを確認します。踏みごたえが「いつもと違うな」と感じたら要注意です。

運転席に座って駐車ブレーキをチェック!

駐車ブレーキの引きしろ(踏みしろ)

点検しないとどうなるの?

駐車ブレーキの引きしろ(踏みしろ)が多くなると、ブレーキの効きが悪くなり、坂道などに駐車するとクルマが動き出す危険があります。

【チェック内容】

駐車ブレーキは、ブレーキ・レバーをいっぱいに引いた(踏んだ)ときに、引きしろ(踏みしろ)が多すぎたり、少なすぎたりしないかを点検します。

エンジンを暖機運転させてチェック!

エンジンの低速・加速状態

点検しないとどうなるの?

エンジンは車を動かす重要な装置です。エンジンの調子を確認しないと走行中にエンジンが空ぶかし状態になったり、エンジンがストップすることもあり、追突される危険もあります。

【チェック内容】

エンジンを暖機させた状態で、アイドリング時の回転がスムーズに続くかを点検します。次に、エンジンを徐々に加速したとき、アクセル・ペダルに引っ掛かりがないか、また、エンスト、ノッキングなどを起こすことなくスムーズに回転が上がるかを、走行するなどして点検します。

もしもの時のお役立ち情報

まめ知識②

警告灯が点灯したら

トラブルを事前に教えてくれる警告灯の意味を理解しましょう。

ブレーキ警告灯	①パーキングブレーキが作動状態にある時 ②ブレーキフルードが不足している時
充電警告灯	充電系統（オルタネータ、ベルトなど）の 状態が異常な時の警告
油圧警告灯	エンジンオイルの圧力が 低下している時の警告
半ドア警告灯	ドアが確実に 閉まっていない時の警告
シートベルト警告灯	シートベルトを 装着していない時の警告
エンジン警告灯	エンジン制御系などにトラブルが 生じている時の警告
ABS警告灯	ABSシステムの異常警告
SRSエアバッグ 警告灯	エアバッグシステムの作動に 関する異常警告

警告灯が消灯しない場合は、すぐに整備のプロに相談しましょう。

エンジンオイルの定期的なメンテナンスを!

●エンジンオイルの適切なメンテナンスを怠っていると、エンジンオイルの劣化により、エンジンが破損し、最悪の場合、火災が発生することがあります。

<エンジンの破損状況>

※エンジンオイルの劣化から潤滑不良に至り、コンロッドが折れてエンジンブロックを貫通してできた穴の様子

<発火の状況>

※エンジンブロックの穴から飛散したオイルが排気管にかかるなどにより発火に至るものと推定

●エンジンオイルの劣化は、自動車を長期間使用する場合だけでなく、短期間でも繰り返し使用することによって発生するため、トラックやマイカー等の様々なタイプの自動車について、注意が必要です。

●エンジンオイルは、一定の期間又は一定の走行距離ごとに交換が必要となりますので、メーカーが指定する交換時期をチェックし、必要に応じて交換を実施しましょう。

自動車のエンジンオイルフィルタの誤った取付けによる火災にご注意!

《正しく取付けられていない例》

カートリッジ型

古いフィルタのOリングが残ったままの状態

エレメント交換型

Oリングの取付け位置が正しくなく、はみ出した状態

エンジンオイルフィルタ交換時の注意点

カートリッジ型

1. 交換前のカートリッジのOリングが、エンジン側の座面に残ってないかを確認しましょう。(二重パッキンの防止)
2. 新しいカートリッジのOリングにオイルを塗布し、規定のトルクで締付けてください。

エレメント交換型

1. 新しいOリングにオイルを塗布し、Oリングを指定の位置に装着してください。
2. 新しいエレメントを取付け、キャップやドレンプラグを規定のトルクで締付けてください。

カートリッジ型、エレメント交換型ともに、取付け後は、エンジンオイル漏れがないことを確認しましょう。

後付電装品の火災にご注意!

バッテリー付近に取付ける後付電装品（電圧安定化装置、HID ヘッドランプ等）の起因による火災や製品の不適切な取付けが原因と推定される火災が発生しています。このような後付製品を購入する場合には、取付ける際の注意事項を確認しておきましょう。

チャイルドシートの肩ベルトの調整を忘れずに!

肩ベルトが適切に調整されておらず、緩んでいると、子供を車内に一人で残した場合に、子供の体がチャイルドシートの外に出て、チャイルドシートの肩ベルトが首にかかった状態となることがあります。チャイルドシートを使用する際は、肩ベルトを適切に調整し、車を離れるときはくれぐれも、車内に子供を一人で残さないようにしましょう。

乗用車のアームレスト等の可動部にお子様が指等を挟み込まないよう注意しましょう

運転席のアームレストとシートの取付け部の隙間にお子様が指を挟み込んでしまうと、大怪我につながるおそれがあります。乗用車の車内にはアームレストとシートの取付け部等の可動部が多くあります。自動車のドア、パワーウインド等への指等の挟み込みと併せて、車内の可動部にお子様が指等を挟み込まないよう保護者の方は十分注意しましょう。

リコール修理は必ず受けましょう

リコール修理は、安全確保及び環境保全のため必要なものです。 なお、リコールの通知を確実に受け取るためにも、自動車検査証の住所や氏名等の変更手続きは必ず行って下さい。

国土交通省自動車不具合情報ホットライン

国土交通省では、自動車不具合情報ホットラインを通じて、皆様のお車に発生した不具合情報を収集しております。皆様のお車に不具合が発生した際には、情報をお寄せ下さい。

●フリーダイヤル受付

0120-744-960 (年中無休･24時間)

オペレータ受付時間　平日 9:30~12:00
13:00~17:30

●ホームページ受付

www.mlit.go.jp/RJ/

自動車不具合情報
ホットライン

※メーカー･販売店とのトラブルの解決、故障の修理の受付など
個人的な相談をする窓口ではありません。

～安全確保と環境保全は、クルマの点検・整備から～

2021 自動車点検整備推進運動

●自動車の点検・整備のことが詳しくわかります。 点検・整備 検索

www.tenken-seibi.com

●「クルマの愛情点検チェックガイド」もご活用ください。

www.tenken-seibi.com/m/

■推進：国土交通省　自動車点検整備推進協議会

■後援：内閣府　警察庁　環境省

■協力：独立行政法人自動車技術総合機構　軽自動車検査協会
独立行政法人自動車事故対策機構

一般社団法人 日本自動車整備振興会連合会
一般社団法人 日本自動車工業会
一般社団法人 日本自動車販売協会連合会
一般社団法人 全国軽自動車協会連合会
一般社団法人 日本中古自動車販売協会連合会
日本自動車輸入組合
一般社団法人 日本自動車連盟
一般社団法人 全国自家用自動車協会
公益社団法人 日本バス協会
公益社団法人 全日本トラック協会
一般社団法人 全国ハイヤー・タクシー連合会
一般社団法人 全国レンタカー協会
一般社団法人 日本自動車タイヤ協会
全国石油商業組合連合会
一般財団法人 自動車検査登録情報協会
公益財団法人 日本自動車教育振興財団
一般社団法人 日本損害保険協会
全国共済農業協同組合連合会
全国労働者共済生活協同組合連合会
一般社団法人 日本自動車部品工業会
全日本自動車部品卸商協同組合
全国自動車電装品整備商工組合連合会
一般社団法人 自動車用品小売業協会
一般社団法人 電池工業会
全国ディーゼルポンプ振興会連合会
日本自動車車体整備協同組合連合会
一般社団法人 日本自動車車体工業会
全国タイヤ商工協同組合連合会
全国自動車部品販売店連合会
一般社団法人 日本自動車部品協会
全国オートバイ協同組合連合会
（順不同）